

報告書

開催日時	平成 27 年 10 月 8 日（木） 19：00～20：30	
開催場所	前津江公民館	
出席議員	(2 班) 森山・坂本（盛）・松野・居川・井上・佐藤	
	班 長	森山
	司 会 者	居川
	記 録 者	井上
参加人数	20 名	
主な要望 ・ 提言等	<p>○A氏</p> <p>1. 前津江で新しく集落営農組織を立ち上げようとしている。大野地区で 20ha の水田で機械組合を作り、稲作の共同作業を計画している。ぜひ農機具等の導入について補助金を増額してほしい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>・農業委員会と産業建設委員会の懇談会が開催される予定なのでその時に、市の担当課に要望として伝えます。</p></div> <p>○B氏</p> <p>1. 結婚対策として、日田市内でお見合いの場所設定や、婚活イベントを行っている所があるのか。</p> <p>2. 出来るならば、旧町村部でも婚活の事業の取り組みを行ってほしい。振興局単位などの小さな地区でも交流をやってもらいたい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>1. 現在、日田商工会議所青年部や、三花公民館が婚活事業を行っている。また、議会の中の政策研究会の取り組みで、新しいテーマとして、婚活の取り組みの具体策を提言するようにしている。また、三花公民館での婚活事業については、行政の支援が必要との要望が出ている。</p><p>2. ぜひ行政側にも提案していきたい。</p></div> <p>○C氏</p> <p>1. 前津江地区でも空き家が多くなってきて倒壊している所もある。盗難や付け火等の心配もある。この対策として、この建物を解体する費用の助成等はないか。</p>	

・空き家の解体費用については、国のほうも、解体後の土地の固定資産税の減免などを考えているが、市のほうにも要望として伝えていきたい。

○D氏

1. 大野から赤石に通じる市道坂合線の道路改良事業について、測量は終わっているが、今後の改良計画はどのようになっているのか。

1. 市土木課等に確認して回答します。

1. 地元三苦議員より概要説明する。
・市道坂合線について予算及び現在の進捗状況を説明する。併せて船頭屋敷からの県道西大山・大野・日田線の改良工事の状況について説明する。

2. 現在県道は、改良工事のため通行止めになっており、市道坂合線が赤石の人たちは、生活道路となっている。冬の積雪のために通行できない状況も続くことがあるので、市道ではあるが、県道なみに除雪作業を行うよう要望する。

2. 市土木課に要望として伝えます。

○E氏

1. お年寄りの交通手段について、幹線道路までは路線バス等が何便か通っているが、バス停から自宅までの距離が長く不便をきたしている。各集落まで入れるバス等の利用はできないだろうか。無医村の地区であるので、ぜひお願いしたい。
2. 国は、今後介護について在宅福祉制度を進めようとしているが、こんな周辺地域では、高齢者の2人世帯が多く、無理が生じ出来ないのが現実である。是非介護施設に入れるよう対策を講じてほしい。

1. 担当課に要望を伝えます。
2. 国は要介護者が増大している現状から、在宅介護政策を進めています。各市町村がどれだけカバーできるか皆さんと協議しながら取り組んでいきたい。

○F氏

1. 農林業従事者を増やすための取り組みとして、新規就農者、後継者支援を充実させるとあるが、具体的にはどんな方策が考えられるか。地域が生き残れる戦略を考えた場合、高齢者が元気でなければならない。米の価格も上がらないし、林業も高齢化して産業がなりたたない。新たな取り組みの支援策があれば教えてほしい。

1. 若い人が個定して地域に残る方策を考えていきたい。後継者を育成していくためにも、皆さんの意見をどしどし出してもらい検討していきたい。

○G氏

1. 日田市の雇用対策について、キャノン等の企業誘致以降 5～6 年、大型の企業が誘致していないので、若い人の雇用が増えていない。市長や県議、市議が一緒になって、広瀬県知事にも強く働きかけて新規企業の誘致を行ってもらいたい。

1. 今回副市長も県より来て、新しい体制ができている。市議、県議と力を合わせて県知事に強く働きかけていきたい。

1. 西有田のウッドコンビナートに新規に 2 社参入し 10 名以上の雇用があると聞いた。また夜明の G G C もやし工場の増設により、新規 12 名の雇用計画があり、少しずつ増えている。大分県にも引き続き働きかけていきたい。

○H氏

1. 振興局（前津江と上津江）の支所化の話が出て、今どちらの地区も反対を表明し、市長にも要望書を提出して支所化に反対している。先週も大風が吹き、赤石地区で道路に大木が倒れ通行出来なくなったが、その時、夜の中に自治会長より前津江振興局へ連絡をしていただき、夜のうちに倒木の除去を早急にしていただき、通行可能となった。これが大山振興局との合体になれば、緊急対応は出来なくなることが考えられる。ぜひ前津江振興局を残してもらいたい。

1. 慎重に検討したい。

○ I 氏

1. 地方創生の取り組み案として出しているものが、合併前の前津江村の振興策と似かよったものが多い。

奨学金の償還免除制度などは、市町村合併になってそれまで他の市町村がやっていないので全部なくなった。バス通学等の補助金制度も、合併 10 年でなくなった。

今人口が減ってきたので、再度いろんな対策が考えられるようになってきている。絵に描いた餅にならないよう市議会として、もっと煮詰めて優先的に出来るものから対策を考えてもらいたい。

1. 合併前は、そういう政策は十分利用されていたのですか？

2. それは十分成果があった。学生の奨学金の免除制度や通学補助、老人のバス代の補助等、利用者は多かった。

1・2. ここにあげている「取り組みと方策」は、市民の皆さんから出された「現状と課題」について、例として考えられるものを書いています。これからは、どんな具体的な方法が良いか、出来るものは何かを協議しながら、議会と執行部と練り上げていきたい。

○ J 氏

1. 議会の政策研究会が 27 年 3 月に提言した内容について、半年経っているが、議会としてチェックや今後の進め方はどうするのか。

1. 現在それについての執行部からの具体的な答えはかえってきていないが、今、提言書をさらに突っ込んで、婚活事業について具体的にできる対策を協議していつている。

1. また、現在、日田市内に小児科医は 5 軒あり少なくはないが、夜間での医療体制が整っていない。政策研究会では、夜間の小児科の医者の確保等について対策検討を進めている。

○ K 氏

1. 林業において、TPP など外材のほうが日本材より安価になり、林業経営が苦しく生活が出来ない状況である。今、新築やリフォームの補助金ができ、大いに役にたっている。この補助金も利用者が多く、年度途中でなくなっている。是非予算を増やしてほしい。

2. また、私たちは林業認定事業体で仕事をしているが、30ha以上の間伐作業について、県から福利厚生費などの補助金が出るが、日田市単独の補助金制度はできないか。

1. 2. 今年度策定された「日田市林業振興ビジョン」の中で、今後執行部と具体的に煮詰めて取り組んでいきたい。
また、リフォーム補助金については、林業振興課に伝える。

○L氏

1. 今、旧郡部単位で月1度に円卓会議を開催しているが、回を重ねるごとに参加者が減ってきている。もっと中身の濃い実のある会議をやってもらいたい。また、旧町村部だけでなく日田市全体でやってもらいたい。また、若者だけでなくいろんな世代の方に参加してもらいたい。

1. 9月4日に開催されたパトリアでの「市民街づくり集会」の内容を説明する。
これからは、市民の皆さんのいろんな意見を聞きながら、具体的対策に優先順位をつけ、議会として執行部と協議しながら煮詰めていきたい。

2. 9月に開催された集会は、企画課が一回きりでやったので、それで終わっている。今後も続けてもらいたい。また前津江で行っている円卓会議に是非、自治会長や老人会の方に見に来てもらいたい、世代間交流ができればいろんな知恵を頂けると思う。

2. そのような皆さんの意見を、この政策にどしどし入れ込んでいき、執行部とともに総合戦略の策定に取り組んでいきたい。

○M氏

1. 日田市内には国指定の無形文化財が3件ある。夜明と大山と前津江の老松神社の大野楽がある。今年も5年に一度の11月22日にある。文化と観光の面で、日田市内のシャトルバス「ひた走り号」を活用して、市内を観光して前津江に来てもらえるようにはできないか。

1. 今年度の補正予算で大野楽には備品購入などの補助金がついているようです。今日の要望は執行部の方へ伝えます。

○N氏

1. 議会改革特別委員会の活動について、今進めている改革等があれば聞きたい。

1. 概ね1カ月に1回開催している。内容は歳費の件、政務活動費の件、議会だよりの内容検討、議会報告会の内容検討などの内容を説明する。

○O氏

1. 田舎への移住のPRや、地元の観光のPRなど都会へ情報発信することを取り組みとしているが、日田の良いところをアピールできる若者が少ない。「自分の住んでいる日田」をもっと自分自らが「好き」になることが大切なことだと思う。

そもそも、自分が日田を好きになる心、考え方を若者に作らさせることが先だと思う。そんな若者を作ることが重要だと思う。

1. そのとおりだと思います。是非「日田を好きになる若者」を育てる方策を考えていきたいと思います。また、大人にもその対策が必要だと思います。